

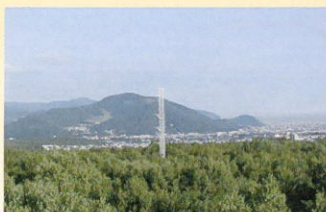
研究成果発表会

地球温暖化と農林水産業

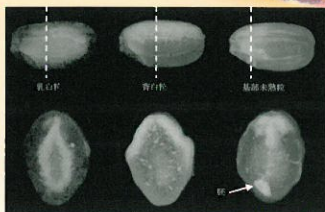
—環境・食卓の現在と未来—

地球温暖化の原因は人為的活動によるものとほぼ断定されるとともに、日本では、コメや果樹などに温暖化の影響が現れてきています。それに伴い、農林水産分野においても、地球温暖化の緩和対策や影響軽減技術の開発がますます重要になっています。

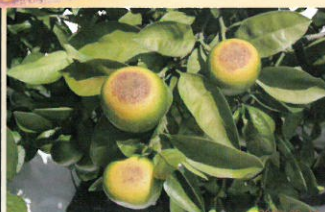
そこで、農林水産業における温暖化影響の現状と将来予測、温暖化の適応技術や温室効果ガス削減技術の最新の研究成果について、講演会とポスターで分かりやすく紹介します。



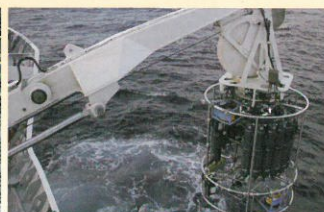
森林の二酸化炭素吸収測定



高温によるコメの白未熟粒



高温によるミカン日焼け症



海洋調査船による温暖化影響調査

平成21年

11月5日(木)

東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号

参加費
無料

13時～16時

講演

ホールD7

(講演会)240名

16時～17時

ポスター発表

ホールD5

(ポスター会場)

共 催：農林水産省農林水産技術会議事務局、(独)農業・食品産業技術総合研究機構、
(独)森林総合研究所、(独)水産総合研究センター、(独)農業環境技術研究所

対 象：生産者、消費者、農林水産業団体、環境 NGO、都道府県・市町村環境行政関係者、学生等

講演概要：12:30 開場

13:00 開会・あいさつ 農林水産省農林水産技術会議事務局、農業環境技術研究所

13:10 (全体講演)地球温暖化現象と農林水産業 谷山一郎(農業環境技術研究所)

13:50 農業における温暖化影響の現状・予測と適応技術 森永邦久(農業・食品産業技術総合研究機構)

14:20 農業における温室効果ガス排出削減対策 八木一行(農業環境技術研究所)

15:00 林業における影響予測と温暖化防止技術 石塚森吉(森林総合研究所)

15:30 水産業における温暖化影響予測と適応技術 渡邊朝生(水産総合研究センター)

16:00 ポスター発表

ポスター予定(一部)：

コメの収量・品質影響の現状、水稻の影響予測、コメの品種改良、ハウス施設の冷熱装置、野菜の品種改良、果樹や茶の温暖化影響の現状、水田からのメタンガス排出削減技術、堆肥施用による二酸化炭素蓄積、洪水影響、森林の炭素循環、森林管理による炭素固定技術、藻場における炭素循環、マイワシ・サンマの温暖化影響、養殖魚への影響と対策等

問い合わせ (独)農業環境技術研究所 研究コーディネータ

E-mail : erosion@affrc.go.jp Tel : 029-838-8200

お申し込み：専用ホームページにて受付中

www.ondanka-aff.com

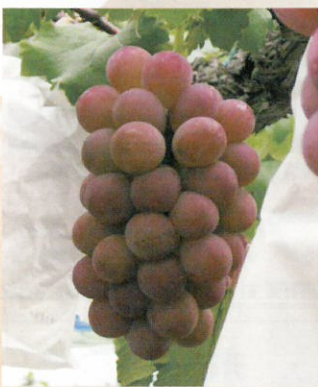
地球温暖化に対応する技術



森林管理による二酸化炭素吸収の維持・促進



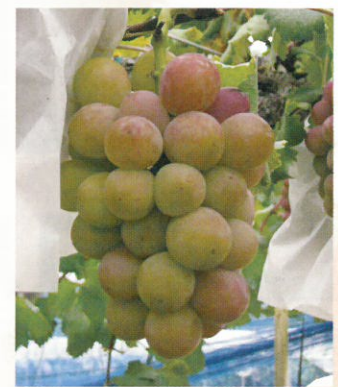
高温耐性の優れたコメ新品種の育成 (左 にこまる)



処理区



未処理区



環状はく皮処理によるブドウの高温着色不良を改善する技術



堆肥の農地投入による炭素蓄積



二酸化炭素発生量削減のための青色発光ダイオードを使用したさんま棒受け網漁船

Venue 会場案内

東京国際フォーラム

〒100-0005 東京都千代田区丸の内3丁目5番1号
代表電話：03-5221-9000

JR 線

有楽町駅より徒歩 1分
東京駅より徒歩 5分 (京葉線東京駅とB1F 地下コンコースにて連絡)

地下鉄

有楽町線：有楽町駅とB1F 地下コンコースにて連絡
日比谷線：銀座駅より徒歩 5分 / 日比谷駅より徒歩 5分
千代田線：二重橋前駅より徒歩 5分 / 日比谷駅より徒歩 7分
丸ノ内線：銀座駅より徒歩 5分
銀座線：銀座駅より徒歩 7分 / 京橋駅より徒歩 7分
三田線：日比谷駅より徒歩 5分

